元気企業訪問

日光精器株式会社

代表取締役社長

中山 享一良さん

なかやま きょういちろう

「現場の仕事」に誇りが持てる環境をつくり、製造業に就く若者を増やしたい

プラスチック部品の加工技術を基盤に、開発設計から完成品まで、社内一貫生産で数多くの製品を提供。その内容は、電気製品、医療機器、車載機器、健康機器など多岐にわたり、幅広く消費者のニーズに対応している。「すべてはニコニコライフのために」を企業理念に、売り手、買い手、世間に笑顔を届けることを使命として「モノづくり」に取り組んでいる。

―創業の経緯と事業内容は？

父である初代が大阪の豊中で電子部品メーカーの協力会社として電子部品の生産を開始しました。その後韓国に工場を建設。紆余曲折を経て、滋賀県にあるプラスチック製造会社を買収し、それが現在の本社工場となっています。

事業は大きく3つに分かれており、1つは部品事業。プラスチック部品の製造販売で、主力は車載関連です。2つ目がPMS（パイロット・マニファクチャリング・サービス）事業、製造委託事業です。設計は発注元が行い生産のみを請け負う「OEM」と、設計も含めて受託する「ODM」の両方を行っています。3つ目は「NB事業」で、我々自身で企画・設計・製造して販売する、いわゆる自社ブランド商品です。

―NB事業を開始した理由は？

きっかけは2008年のリーマンショックです。弊社は請負が中心でしたから将来的なことを考えると、自社ブランド品を作っていかないことにはこのような危機は乗り越えられない。弊社にはPMS事業において医療機器などのさまざまな製造経験と設計部隊がありましたので、これらを活かし自社の独自の商品を作ろうということで、2010年頃に本事業をスタートしました。

―御社の強みは？

弊社の特徴は全工程が社内でできるということです。受注から企画・開発・設計・量産・出荷までを独自の一貫システムで対応できます。また、電子部品もあり、県内の中小企業でそこまでできるところは少ないと思います。

―「全ては ニコニコライフのために」の意図は？

日光精器の存在意義、将来的な事業目的は？というところを幹部を集めて徹底的に議論した結果、行き着いたところは、やっぱり人のためだと。お客様に喜んでいただくものを作ることが我々の使命だということでした。それならお客さまが「いいね、これ便利ね」とニコニコしてもらえるものを作ろう。社名も日光（ニッコウ）精器なのでニコニコ。少し強引な語呂合わせですが…。現在では、近江商人の「三方よし」のように、我々は三方がニコニコできる仕事をやっていく。この理念を会社の指針として全社員が共有しています。

―経営面で大切にしているものは？

高度経済成長の時代、我が国は「モノづくり日本」と言われ、世界から高い評価を受けていました。その原動力となったのが、中小製造業で働く人たちの地道な努力と働き方のシステムです。しかし時代が進むにつれ人々はかつてのような働き方を敬遠するようになり、「モノづくり日本」という言葉も死語になりつつあります。

そのような中で、「モノづくりは日本の栄光をもう一度！」となれば、あえて過去の時代の考え方に立ち返る部分も必要なのではないかと考え、5S活動やQ[※1]C サークル、TPM[※2]活動などを行っています。ここ数年はコロナ禍の影響で実施されていないのですが、バーベキュー大会や新人歓迎会、旅行やスポーツ大会など、「昭和か！」と言われそうですが、社員同士のコミュニケーションの活性化につながることを重んじています。

―産業支援プラザとの関わりは

2006年、自社ブランド品の開発に際し、産業支援プラザの支援で産学連携による福祉関連商品を開発・製造したのが最初です。弊社の事業の中でも医療関係の商品となると、薬機法などいろいろ複雑なことがあるのでその都度相談しています。支援事業の中に「しが[※3]オープンイノベーションフォーラム（旧しが医工連携ものづくりネットワーク）」があって、医療関係の交流会や講演会、研究会などのプログラムが用意されており、参加しています。

―今力を入れている事業や、今後の展望を教えてください。

「製造業」「現場」というと、とかく3K的な仕事というイメージがあります。だから今、私は「製造業」に従事することに誇りが持てるような環境を再構築したいと思っています。具体的には、野菜や果物に生産者のメッセージや写真が付けられているように、弊社でも若い社員たちに現場でどんどん働いてもらい、「この商品は私が作っていますよ」といったメッセージをホームページなどで発信する。そうやって「製造業」や「現場」というもののイメージを変えていくことで、製造業に就きたいという若者を増やしていきたいと思っています。

写真左：スマート低周波　専用アプリで、スマホやタブレットからリモート操作が行えるコードレス低周波治療器。
写真中：超音波ミスト付きフェイススチーマー　化粧水を超音波素子でミスト化し、スチームと同時に使用できるフェイススチーマー。
写真右：ハナオート DX　電動で鼻うがいが行える鼻用洗浄器。たっぷり洗浄できる 380ml の大容量タンクと、ロングノズル仕様で楽に手元操作が可能。

<PROFILE>
日光精器株式会社
■代表者／代表取締役社長　中山 享一良
■従業員／250名
■所在地／滋賀県近江八幡市馬淵町2660(本社工場)
■創　立／1965年
■事業内容／電気製品・医療機器・車載機器・介護機器・健康機器の開発、製造、販売
■TEL／0748-37-7581(代)
■URL／https://www.nikko-seiki.co.jp

※1 QCサークル活動
小集団改善活動とも呼ばれ、職場で自主的に製品やサービスの質の管理や改善に、小集団で取り組む活動

※2 TPM活動
生産システムに存在するあらゆるロスをゼロにする活動を通して、人と設備の体質を改善し、企業体質の改善を実現する活動

※3 しがオープンイノベーションフォーラム
ものづくり企業の他、農業や情報通信業など様々な技術シーズを有する企業、県外企業や大企業も取り込んだ"出会いの場"を形成。マッチング機会の提供や伴走支援によりオープンイノベーションを推進し、県内中小企業の競争力強化を図ります。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ　連携推進部　イノベーション推進課　☎077-511-1414　077-511-1418　ino@shigaplaza.or.jp